

まさか  
山口尚芳をしっていますか？

Episode 04

明治維新150周年 近代科学の先進地、武雄

山口尚芳（一八三九〜九四）は武雄領で生まれ、治喜人または範蔵とも名乗りました。若くして長崎で洋学を学んだ尚芳は、幕末の討幕運動に参加。明治時代に入ると、主に外交や経済にかかわる官僚として活躍しました。岩倉使節団では全権副使となり、四人の副使の中ではただ一人、およそ一年十カ月にわたる全日程をこなし、アメリカやヨーロッパ諸国を歴訪しました。帰国後に起こった佐賀の乱では政府側として反乱の鎮圧に尽力します。このとき、武雄兵も一時、やむをえず反乱側に加わったため、乱後は武雄の赦免に奔走しました。明治十四年には初代会計検査院長に就任。その後は肥前（佐賀）のリーダー格である大隈重信が失脚したこともあり、政府の主流からは離れますが、元老院議員、貴族院議員などを歴任しています。

尚芳に関する資料はあまり残っておらず、世間一般における尚芳の認知度はあまり高くありません。しかし、地元では、郷土の偉人としてその偉業を顕彰しており、尚芳の屋敷があった武雄町花島区では、毎年一月に「範蔵まつり」がおこなわれています。



【写真】

「岩倉大使一行写真」（武雄市蔵）  
岩倉使節団の大使と副使たち。  
左から、木戸孝允（副使）、山口尚芳（副使）、岩倉具視（大使）、伊藤博文（副使）、大久保利通（副使）。

有料広告

大切なあなたへ 感謝の想い  
ありがとうまごころ込めて

初盆フェア  
開催中

初盆壇飾り、灯籠、返礼品、展示ご予約承り中

山内斎場まごころ 家族葬ホール オープンしました



山内斎場



まごころ

随時開催

葬儀事前相談会

武雄北方斎場 | 嬉野斎場 | 江北斎場 | 山内斎場

代表TEL 0954-36-5101 / FAX 0954-36-5121

ご希望に応じたご提案と事前見積もりを行っております。お気軽にご相談下さい。

1年365日・24時間受付～もしもの時…ご安心下さい～